


もくじ

えび人 vol.26	02	情報／市民の広場	10
今号の表紙	03	ホール・ギャラリー	12
HUGHUG子育て	04	相談	13
市道を整備しました	08	図書館	14

「広報えびな」の共通マークとルール

日時・日にち 期間 時間 場所 対象 定員
 内容 講師 費用 持ち物 その他 任期
 条件 主催 Eメール ホームページ 問い合わせ
 申し込み 予約制 祝日を除く 休み

 高齢者対象の教室など

市外局番…省略している場合はすべて「046」です

市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492勝瀬175-1海老名市〇〇〇課行」と記入してください

市役所開庁時間…省略している場合は原則「平日8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな

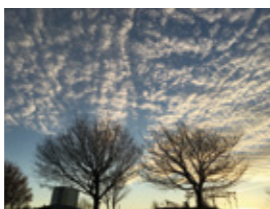
きれいなにじがかるイメージで書きました。

杉久保小学校 前野華凜さん(10歳)



写真

タイトル：樹々の力
 撮影場所：県立相模三川公園
 撮影者：河原口在住
 渡部恭子さん



編集雑記

消防団にサッカーに、人生を楽しんでいる鈴木さん。会社勤めと消防団活動の両立は大変かと問うと「問題ないですよ」と飄々と返され、「今日もどこかでラーメンを食べてきます」と去って行きました。趣味を謳歌されている姿に心を動かされました。チャレンジ精神をもって視野を広げていきたいと前向きになれた取材でした。(た)



1度の人生 世界広がる経験を

市内で人口が多い、中央・国分・望地区を守る消防団第1分団。鈴木さんは昨年分団長に就任しました。

市外出身の鈴木さんが消防団に入ったきっかけは、行きつけの店で消防団の人を紹介してもらったこと。海老名に住んで間もなかった鈴木さんは「入団したら地域の人と知り合うきっかけが増えるだろうと考えた」と、当時の思いを話します。入団後は各自治会の自主防災訓練などにも参加。「おかげで知り合いが増えました。いまは地域貢献ができることもモチベーションです」とほほ笑みます。

分団長としての目標は若い人に入団してもらうこと。第1分団は年2回のオリジナルの新聞を発行し、活動紹介や催しの案内と一緒に、団員の募集をしています。「入団したからこそできた体験がたくさんあるし、知らなかった世界を経験できた。1度の人生、視野を広げることの一つとして消防団の活動を選んでもらえれば」と鈴木さんは呼びかけます。



ポンプ車乗車体験で子どもとふれあい。地域の益踊りです。

サッカーチームのメンバーと。ポジションはバック。

今月のえび人

鈴木智和さん
(国分北在住・43歳)

消防団第1分団分団長。会社員。約6年前に消防団に入団。趣味はサッカーとラーメンの食べ歩きなど。子どもの成長を見届けた今は「自分の時間」を満喫中。